

提 供 日 2026/03/04

タイトル 静岡県立総合病院で入院時重症患者対応メディエーター
看護師が活躍しています

担 当 県立総合病院 総務課

連 絡 先 県立総合病院 総務課

TEL 054-247-6111 (代)



～ともしつくる信頼と安心の医療～

静岡県立総合病院で

入院時重症患者対応メディエーター看護師が活躍しています

1 要旨

2022年度から「重症患者初期支援充実加算」としてメディエーターが重症患者の初期支援を行なうことに診療報酬が加算されるようになりました。入院時重症患者対応メディエーターは急性期の感情的混乱や時間的切迫という困難な状況下で、患者・家族と医療者の対話に関与し、納得のいく意思決定を支援することが役割となります。

県中部における急性期医療を担う静岡県立総合病院では、2022年8月から所定の研修を修了した看護師を入院時重症患者対応メディエーターとして配置しました。急性期医療では突然の入院により患者・家族が抱える動揺は計り知れません。医療の知識だけでなく、患者・家族のところに寄り添うスキルを身につけた看護師が患者・家族の情緒的支援をすることで、その後の意思決定を促進すると考え、加算対象に限らず介入を拡大し活躍しています。

2 活動概要

2023年度からの介入延べ件数は、2023年度118件、2024年度75件、2025年度は4月から12月で113件となります。2025年度の内訳は救急外来での初期介入30件を含むICU（集中治療室）以外が78件、ICUが35件でありICU以外の介入が上回っています。支援内容は情緒的支援80件、意思決定支援33件でした。

救急外来では重症例の病状安定を待つ時間に先行して接触することで、単なる延命処置の選択に留まらず、適切なタイミングでの緩和ケア移行につながりました。

3 今後に向けて

当院の実績は、急性期医療において集中治療の有無を問わず、メディエーター介入の潜在的な需要が極めて高いことを示しています。医師の説明前から関わることは、より早く患者の価値観を迅速に把握して患者の孤立感を解消し、安心感を持って現状に向き合う基盤となります。これは医療者側と患者側の情報格差を埋めて医療不信の回避や対話の質の向上に直結し、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の促進や本人の意思に基づいた納得度の高い医療選択に寄与します。

引き続き、静岡県の医療に貢献するべく、さらなる医療の質向上や機能強化を通じて患者さんに寄り添った全人的医療を提供してまいります。

4 補 足

- ・情緒的支援：医師からの患者の状態や今後の治療効果等の面談に同席し、患者及び家族の精神的なサポートを行う。
- ・意思決定支援：治療の選択肢を提示された場合に、医療情報格差を埋めるための情報提供や辛い選択をせざるを得ない状況にある患者家族の精神的なフォローを実施する。
- ・A C P：アドバイス・ケア・プランニングの略称。人生の最終段階における医療やケアの選択について患者・家族・医療者などで事前に話し合うこと。